

熊本県感染症情報 (10月11日～10月17日)

KKT 熊本県民テレビ 医療サイト事務局

感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、RSウイルス感染症、水痘の報告が多い

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	3	4	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	45	41	ヘルパンギーナ	10	6
咽頭結膜熱	11	19	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	65	64
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	20	17	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	151	164	流行性角結膜炎 (はやり目)	9	7
水痘	45	29	細菌性髄膜炎	0	1
手足口病	24	27	無菌性髄膜炎	0	0
伝染性紅斑 (りんご病)	34	36	マイコプラズマ肺炎	0	2
突発性発しん	33	46	クラミジア肺炎	0	1

- 感染性胃腸炎は、報告数 151件(前週報告数 164件)と減少。
地区別では、人吉、宇城、八代、天草に多く報告がみられる。
年齢別では、1歳の 23件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は、報告数 65件(前週報告数 64件)と増加。
地区別では、山鹿、八代、宇城に多く報告がみられる。
年齢別では、2歳、4歳、5歳の 10件を最多に、15～19歳以下からの報告である。
- RSウイルス感染症は、報告数 45件(前週報告数 41件)と増加。
地区別では、菊池、熊本、宇城に報告が多くみられる。
年齢別では、1歳の 18件を最多に、5歳以下からの報告である。
- 水痘は、報告数 45件(前週報告数 29件)と増加。
地区別では、水俣、人吉、天草に報告が多くみられる。
年齢別では、3歳の 15件を最多に、7歳以下からの報告である。

腸管出血性大腸菌感染症 (O157など)

今週は3件の腸管出血性大腸菌感染症の報告があり、第1週からの累積は71件(患者:44人、無症状病原体保有者:27人)になりました。昨年同期(38件)に比べ、大幅に増えています。通常は夏場に多く、全国的には8月下旬をピークに減少していますが、県内では9月～10月にかけ、集団発生の報告もあり数が増えています。腸管出血性大腸菌は、強い感染力をもっており、少量の菌で感染します。免疫力や体力の面から、特に乳幼児や高齢者がかかりやすく、重症化しやすいので、特に注意が必要です。腸管出血性大腸菌感染症は、O157を代表として、O26、O111、O103など多くの種類があります。症状には個人差がありますが、下痢、腹痛、血便、発熱などがみられます。特に血便がみられた場合は、すぐに医療機関を受診して下さい。腸管出血性大腸菌は75℃で1分間加熱することで死滅します。生の食材と加熱後の食品は、必ず別の調理器具で扱うなどの注意をしましょう。

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	
インフルエンザ	3											1		1								1
小児科定点年齢	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20歳以上							
RSウイルス感染症	45	8	7	18	9		2	1														
咽頭結膜熱	11			4	1	2	3							1								
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	20			1		2	3	1	2	1	4	3	1									2
感染性胃腸炎	151	2	21	23	13	13	17	14	9	5	4	6	12	3	9							
水痘	45		3	7	10	15	6	2	1	1												
手足口病	24		2	12	6	1	2							1								
伝染性紅斑	34			4	4	10	10	1	3	2												
突発性発しん	33		18	15																		
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	10		4	1	1	1			1	1	1											
流行性耳下腺炎	65			4	10	7	10	10	5	6	8	2	2	1								
眼科定点年齢区分	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	9								2	1				1	1		2			2		
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	0																					
マイコプラズマ肺炎	0																					
クラミジア肺炎	0																					